

# 学術講演会のお知らせ

第6回物質機能・エネルギー科学系講演会  
第18回フロンティア・インキュナブラ講演会

この度、東京理科大学 学長 藤嶋 昭 氏をお迎えして講演会を開催します。講演者は東京大学大学院に在学中の1967年春、水溶液中の酸化チタン電極に強い光を当てたところ、酸化チタン表面で光触媒反応が起きることを発見しました。この現象は共同研究者の本多健一氏と合わせ「本多-藤嶋効果」と呼ばれています。それらの業績が認められ、2004年に日本国際賞を受賞しました。皆様のご来聴をお待ちしています。

なお、本講演会は第18回フロンティア・インキュナブラ講演会との共催事業になります。

## 記

主 催 岩手大学物質機能・エネルギー科学系  
共 催 岩手大学工学研究科フロンティア材料機能工学専攻  
協 賛 日本化学会東北支部、電気化学会東北支部  
後 援 岩手大学地域連携推進センター  
岩手ネットワークシステム（INS）エネルギー変換技術研究会  
日 時 2011年7月15日（金）14時45分-16時15分  
場 所 岩手大学工学部テクノホール（旧11番教室）  
〒020-8551 岩手県盛岡市上田4-3-5



講 演 者 藤嶋 昭 氏  
東京理科大学・学長、東京大学・初代特別荣誉教授、日本化学会会長（2006-2007年）  
<http://www.tus.ac.jp/info/president/> （東京理科大学HPの学長挨拶）

題 目 研究も教育も良い雰囲気のもとで —光触媒を例にして  
内 容 光ペクレル効果から始まり、半導体の光電極反応を研究してきました。酸化チタン単結晶を電極にし、水の光分解反応を見出すことができました。この反応を応用したのが光触媒として注目されています。強い酸化力と超親水性効果を利用すると、空気や水がきれいになり、又建物もセルフクリーニングできることになりました。また、ウイルスなども殺菌することができ、可視光にも応答する光触媒材料ができてきています。

これらの研究をとおして、研究も教育もすばらしい雰囲気のもとで実施することで、思わぬ成果を得られることがわかりました。感動しつつ、研究も教育も行いたいものです。

Key words 光ペクレル効果、酸化チタン、水の光分解、光触媒、セルフクリーニング

参 加 費 無 料

問い合わせ先 岩手大学 総務企画部企画調査課 業務企画グループ  
石井敬之 電話：019-621-6994 E-mail: sgyoumu@iwate-u.ac.jp  
岩手大学 大学院工学研究科フロンティア材料機能工学専攻  
熊谷直昭 電話：019-621-6328 E-mail: nkumagai@iwate-u.ac.jp

